

卷 末 資 料

点検様式事例

地すべり防止施設調査票(抑制工) 県職員版

諸 元	地区名:	ブロック名:	点検年月日:	点検者:
	該当施設(施設番号): 集水井工()、水抜きボーリング工()、承排水路工()			

対象項目(☑をチェック)	異常が見られる項目(☑をチェック)	結果(☑をチェック)
集水井工	<input type="checkbox"/> 安全施設等 <input type="checkbox"/> 柵 <input type="checkbox"/> 天蓋 <input type="checkbox"/> 集水井周辺の陥没 <input type="checkbox"/> 柵の錠 <input type="checkbox"/> 天蓋入口の鍵	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり <input type="checkbox"/> 不足あり
	<input type="checkbox"/> 集水井内部 <input type="checkbox"/> 本体の変形 <input type="checkbox"/> 土砂流入 <input type="checkbox"/> 集水ボーリングの明らかな目詰まり <input type="checkbox"/> 部材の著しい劣化 <input type="checkbox"/> 湛水	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり <input type="checkbox"/> 内部が見えない
	<input type="checkbox"/> 排水ボーリング <input type="checkbox"/> 排水量がない <input type="checkbox"/> 排水量が吐き口までの間に明らかに減少 <input type="checkbox"/> 吐き口の周辺が破損 <input type="checkbox"/> 吐き口の周辺が埋没 <input type="checkbox"/> 排水管の位置不明	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり
<input type="checkbox"/> 水抜きボーリング工 <input type="checkbox"/> 明らかな目詰まり <input type="checkbox"/> 吐き口の周辺が破損 <input type="checkbox"/> 吐き口の周辺が埋没	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
<input type="checkbox"/> 承排水路工 <input type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 埋没 <input type="checkbox"/> 流末の位置不明	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	

各項目および周辺状況で気づいた点があれば記入ください(自由記入)

※位置図や写真は別添に記載してください

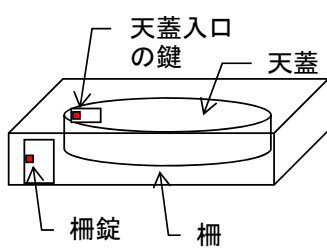
評価	1.追加調査が必要 2.補修が必要 3.点検を継続
----	---------------------------------

諸元	地区名:	ブロック名:	点検年月日:	点検者:
	該当施設(施設番号):集水井工()、水抜きポーリング工()、承排水路工()			

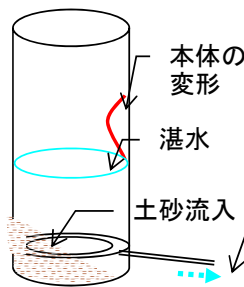
地すべり防止施設調査票(抑制工)県職員版の記入方法

- 1.目的: 巡視員や地元住民からの施設の劣化情報に基づき、詳細点検や補修を行うための絞り込みに使用する
- 2.点検実施者: 県職員(技術系の職員)
- 3.点検対象: 地下水排除工の集水井工・水抜きボーリング工・承排水路工
- 4.点検方法(異常のイメージと留意点):
 - ・諸元には、ブロック名が不明な場合は任意の名称で記入、施設番号が分かれば記載
 - ・補修や洗浄で対応可能な場合は、**補修方法や概略数量を自由記入欄に記載**
 - ・点検時に気づいた点を周辺状況も含めて自由記入欄に記載
 - ・異常があった箇所の場所や状況が分かるようなスケッチ・写真を別紙に記載(添付)

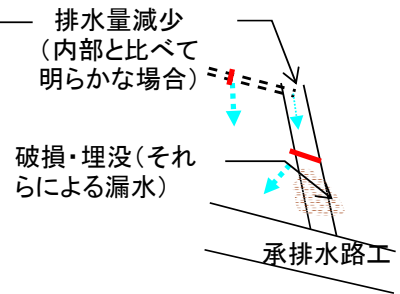
集水井工



安全施設等:
・地元の方の安全面に問題ないかという観点

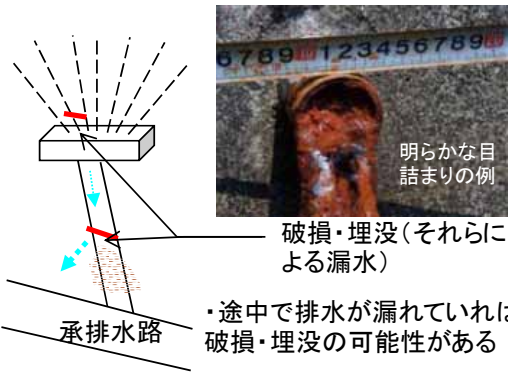


集水井内部:
・上から見える範囲で点検

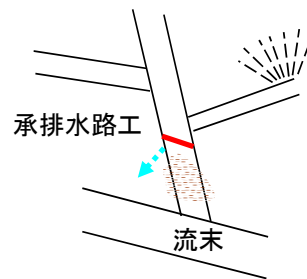


排水ボーリング:
・集めた水が排水管内、あるいは承排水路までに漏れていないか点検(別の集水井工に連結されている場合は点検不要)

水抜きボーリング工



承排水路工



・施設からの排水が確実に流末に達しているか確認。流末とは、道路側溝や大きな縦排水路、溪流のこと

自由記入

- 補修内容の記載例
 - ・柵交換L=10m
 - ・承水路工の土砂除去L=5m
 - ・水抜きボーリング工の接続管(エルボ)の交換2箇所等
 - 周辺状況
 - ・注意が必要な地すべりの前兆現象の例
 - ・可能なら聞き取りで得られた情報も記載
- (例: 小石が落ちてくる・焦げ臭いにおいがする等の些細なことも記載ください)



評価

- 1.追加調査が必要: 異常の原因が分からない場合(排水管の漏水、本体の変形、道路等の亀裂等)
- 2.補修が必要: 異常の原因が明らかで現場で補修方法を決められる場合
- 3.点検を継続: 異常がないので、定期点検や異常時点検(豪雨・地震等)を続ける場合

地すべり防止施設調査票(抑制工) 県職員版の記入例とQ&A

Q.ブロック名、施設名がわからない
 A.わかりやすいブロック名、施設名を任意で付けてください。施設位置の把握に携帯式GPSを活用できる場合は座標値を記入してください。

Q.施設の調査はどこまで行えばよいか
 A.安全に歩ける範囲で全施設(承排水路工は全線)の調査を基本とします。集水井工の内部は外から見える範囲で結構ですが、排水ボーリングは吐き口も点検してください(管理上重要)

様式-1(1) 地すべり防止施設調査票(抑制工) 県職員版

地区名: ○○○○ ブロック名: A-1 点検年月日: 18541 点検者: △△△△
 調査施設(建設番号): 集水井工(1号) 水抜きボーリング工(2号) 承排水路工(3号)

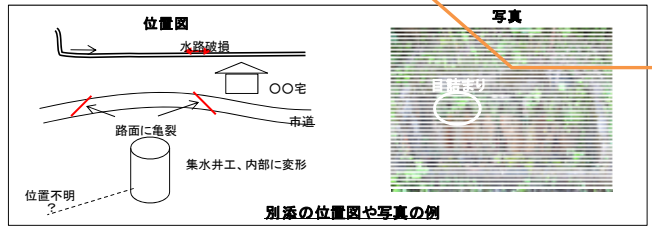
対象項目(○をチェック)	異常が見られる項目(△をチェック)	結果(○をチェック)
<input checked="" type="checkbox"/> 安全施設等	<input type="checkbox"/> 損傷 <input type="checkbox"/> 構の綻 <input type="checkbox"/> 大盤 <input type="checkbox"/> 大盤入口の綻 <input type="checkbox"/> 集水井周辺の陥没	<input checked="" type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり <input type="checkbox"/> 不足あり
集水井工		
集水井内部	<input checked="" type="checkbox"/> 本体の変形 <input type="checkbox"/> 部材の著しい劣化 <input type="checkbox"/> 土砂流入 <input type="checkbox"/> 漏水 <input type="checkbox"/> 集水井・リングの明らかな目詰まり	<input type="checkbox"/> 異常なし <input checked="" type="checkbox"/> 異常あり <input type="checkbox"/> 内部が見えない
排水ボーリング	<input type="checkbox"/> 排水量が低い <input checked="" type="checkbox"/> 排水管の位置不明 <input type="checkbox"/> 排水量が吐き口の間に明らかに減少 <input type="checkbox"/> 吐き口の周辺が破損 <input type="checkbox"/> 吐き口の周辺が埋没	<input type="checkbox"/> 異常なし <input checked="" type="checkbox"/> 異常あり
水抜きボーリング工	<input checked="" type="checkbox"/> 明らかな目詰まり <input type="checkbox"/> 吐き口の周辺が破損 <input type="checkbox"/> 吐き口の周辺が埋没	<input type="checkbox"/> 異常なし <input checked="" type="checkbox"/> 異常あり
承排水路工	<input checked="" type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 埋没 <input type="checkbox"/> 流水の位置不明	<input type="checkbox"/> 異常なし <input checked="" type="checkbox"/> 異常あり

Q.調査票への記載は「ブロックごと」か「施設ごと」のどちらか。
 A.1枚1施設で記載します。1ブロックに集水井工・水抜きボーリング工・承排水路工の異なる施設がある場合はまとめて記載しても結構です。1施設とは、集水井工や水抜きボーリング工は1基ごと、承排水路工は流末(道路側溝や大きな縦排水路、溪流)までつながる一連の水路を目安とします。

Q.明らかな目詰まりとはどのような状態か
 A.外から見て詰まっている孔があったら明らかな目詰まりとします。

Q.自由記入はどのように?
 A.補修や洗浄で対応可能な場合は、補修方法や概略数量を記載して下さい。また、周辺の道路状況や聞き取り結果なども記載してください。

- ・集水井工の内部に変形が見られた。地すべりの動きの可能性があるため原因調査が必要。
- ・排水ボーリングの排水管が見つからなかった。台帳を調べて位置の確認が必要。
- ・水抜きボーリング7孔のうち、左から1,2番目の2孔が半分以上目詰まり。洗浄が必要。
- ・承排水路工の○○宅の裏の水路が破損して漏水していた。U型コルゲートフリーユーム400、L=10mの交換が必要。
- ・集水井工に近接する市道◇◇線の道路面に新しい亀裂が見られた。



※位置図や写真は別添に記載してください

評価	1.追加調査が必要	2.補修が必要	3.点検を継続
----	-----------	---------	---------

Q.評価はどのように?
 A.1.追加調査が必要: 異常の原因が分からない場合(排水管の漏水、本体の変形、道路等の亀裂等)
 A2.補修が必要: 異常の原因が明らかで現場で補修方法を決められる場合
 A3.点検を継続: 異常がないので、定期点検や異常時点検(豪雨・地震等)

Q.地すべり防止施設の名称が当県と調査票(案)とで異なる
 A.県や地区によって扱いが異なることがあるので、下表を参考に分かりやすい名称を使用してください。

表- 地すべり防止施設名称の参照表

本資料の名称	類義語
集水井工	井戸、井筒
集水井工	集水管
排水ボーリング工	排水管
水抜きボーリング工	横ボーリング工、水平ボーリング工、水平水抜管、水抜管
承排水路工	承水路工、排水路工、水路工、地表排水工、地表水排除工

地すべり防止施設調査票（抑制工）県職員版の Q&A

Q 施設の調査はどこまで行えばよいか

安全に歩ける範囲で全施設（承排水路工は全線）の調査を基本とします。集水井工の内部は外から見える範囲で結構ですが、排水ボーリングは吐き口も点検してください。排水管の出口が見つからないことも管理上重要な情報です（排水ボーリングが別の集水井に連結されていることもあります）。

Q ブロック名、施設名がわからない

分りやすいブロック名、施設名を任意で付けてください。施設位置の把握は携帯式の GPS を活用して頂いても結構です。

Q 調査票への記載は「ブロックごと」か「施設ごと」のどちらか。

1 枚 1 施設で記載します。1 ブロックに集水井工・水抜きボーリング工・承排水路工の異なる施設がある場合はまとめて記載しても結構です。1 施設とは、集水井工や水抜きボーリング工は 1 基ごと、承排水路工は流末（道路側溝や大きな縦排水路、溪流）までつながる一連の水路を目安とします。

Q 地すべり防止施設の名称が当県と調査票とで異なる

県や地区によって施設の名称が異なることがあるので、下段を参考にして分かりやすい名称を使用してください。

表-1 地すべり防止施設名称の参照表

本資料の名称	類義語
集水井工	井戸、井筒
集水ボーリング工	集水管
排水ボーリング工	排水管
水抜きボーリング工	横ボーリング工、水平ボーリング工、水平水抜管、水抜管
承排水路工	承水路工、排水路工、水路工、地表排水工、地表水排除工

Q 集水井の集水ボーリング工や水抜きボーリング工の明らかな目詰まりとはどのような状態か

集水井の集水ボーリング工は外から見て詰まっている孔があったら、水抜きボーリング工は孔口部が半分以上閉塞している孔があったら明らかな目詰まりとします。

Q 調査結果はどのように報告すればよいか。

調査票と一覧表や総括表（表-2,3）を参考にとりまとめて、報告してください。

表-2 一覧表の例

地区名	ブロック名	施設名	調査結果概要	評価
	A-1	1号集水井	本体変形、排水b不明、調査必要	1
	A-1	2号水抜きボーリング	目詰まり、洗浄工必要	2
	A-1	3号承排水路工	水路破損、補修 L=10m	1
	B-1	2号集水井	異常なし	3
・	・	・	・	・
・	・	・	・	・

評価 1.追加調査が必要 2.補修が必要 3.点検を継続

表-3 総括表の例

	1.追加調査が必要	2.補修が必要	3.点検を継続	計
集水井工	3	4	10	17
水抜きボーリング工	0	6	18	24
承排水路工	0	12	28	40
計	3	22	56	81

地すべり防止施設調査票(抑制工) 巡視員版

諸元	地区名:	ブロック名:	点検年月日:	点検者:
	該当施設(施設番号): 集水井工()、水抜きボーリング工()、承排水路工()			

対象項目(☑をチェック)	異常が見られる項目(☑をチェック)	結果(☑をチェック)	
集水井工	<input type="checkbox"/> 安全施設等 <input type="checkbox"/> 柵 <input type="checkbox"/> 天蓋 <input type="checkbox"/> 集水井周辺の陥没	<input type="checkbox"/> 柵の錠 <input type="checkbox"/> 天蓋入口の鍵	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり <input type="checkbox"/> 不足あり
	<input type="checkbox"/> 集水井内部 <input type="checkbox"/> 本体の変形 <input type="checkbox"/> 土砂流入 <input type="checkbox"/> 集水ボーリングの明らかな目詰まり	<input type="checkbox"/> 部材の著しい劣化 <input type="checkbox"/> 湛水	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり <input type="checkbox"/> 内部が見えない
	<input type="checkbox"/> 排水ボーリング <input type="checkbox"/> 排水量がない <input type="checkbox"/> 排水量が吐き口までの間に明らかに減少 <input type="checkbox"/> 吐き口の周辺が破損 <input type="checkbox"/> 吐き口の周辺が埋没	<input type="checkbox"/> 排水管の位置不明	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり
<input type="checkbox"/> 水抜きボーリング工 <input type="checkbox"/> 明らかな目詰まり <input type="checkbox"/> 吐き口の周辺が破損 <input type="checkbox"/> 吐き口の周辺が埋没		<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
<input type="checkbox"/> 承排水路工 <input type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 埋没 <input type="checkbox"/> 流末の位置不明		<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	

各項目および周辺状況で気づいた点があれば記入ください(自由記入)

※位置図や写真は別添に記載してください

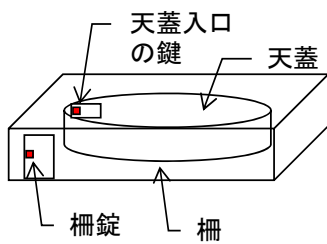
評価	1.異常あり 2.異常なし
----	---------------

諸元	地区名:	ブロック名:	点検年月日:	点検者:
	該当施設(施設番号):集水井工()、水抜きポーリング工()、承排水路工()			

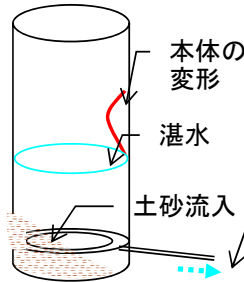
地すべり防止施設調査票(抑制工)巡視員版の記入方法

- 1.目的: 地下水排除工の異常の有無を都道府県担当部署へ報告すること
- 2.点検実施者: 地すべり巡視員(地元住民の方々)
- 3.点検対象: 地すべり防止施設のうち、地下水排除工の集水井工・水抜きボーリング工および承排水路工
- 4.点検方法(異常のイメージと留意点):
 - ・諸元には、ブロック名が不明な場合は仮の名称で記入し、施設番号(5号集水井など)が分かれば記載ください
 - ・点検時に気づいた点を周辺状況も含めて自由記入欄に記載してください
 - ・異常があった箇所や状況が分かるようなスケッチ・写真を別紙に添付ください

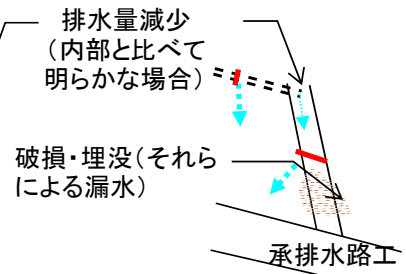
集水井工



安全施設等:
・地元の方の安全面に問題ないかという観点

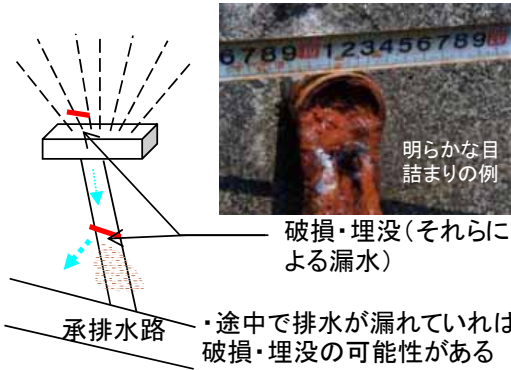


集水井内部:
・上から見える範囲で点検

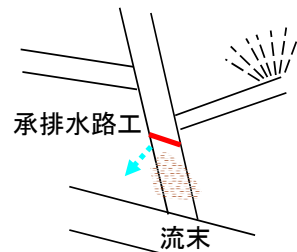


排水ボーリング:
・集めた水が排水管内、あるいは承排水路までに漏れていないか点検(別の集水井工に連結されている場合は点検不要)

水抜きボーリング工



承排水路工



・施設からの排水が確実に流末に達しているか確認。流末とは、道路側溝や大きな縦排水路、溪流のこと

自由記入

- ・注意が必要な地すべりの前兆現象の例
 - ・可能なら聞き取りで得られた情報も記載
- (例: 小石が落ちてくる・焦げ臭いにおいがする等の些細なことでも記入ください)



評価: 点検を行った地区・ブロックで異常が1箇所でもあった場合は「1.異常あり」とします

地すべり防止施設調査票(抑制工) 巡視員版の記入例とQ&A

Q. ブロック名、施設名がわからない
A. 分かりやすいブロック名、施設名を任意で付けてください。その場合、県の担当部署と情報を共有して下さい。

Q. 施設の調査はどこまで行えばよいか
A. 安全に歩ける範囲で全施設(承排水路工は全線)の調査を基本とします。集水井工の内部は外から見える範囲で結構ですが、排水ポーリングは吐き口も点検して下さい(管理上重要)

様式-1(0) 地すべり防止施設調査票(抑制工) 県職員版

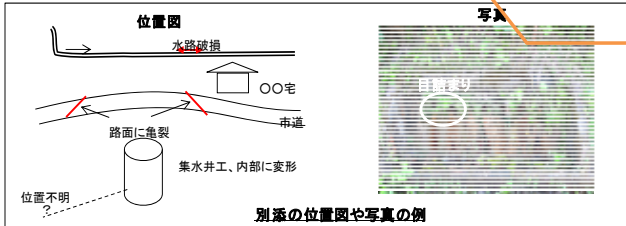
諸元
 地区名: ○○○ ブロック名: A-1 点検年月日: H23.4.1 点検者: △△△△
 該当施設(施設番号) 集水井工(1号)、水抜きポーリング工(2号)、承排水路工(3号)

対象項目(☑をチェック)	異常が見られる項目(☑をチェック)	結果(☑をチェック)
<input checked="" type="checkbox"/> 安全施設等	<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 補の錠 <input type="checkbox"/> 天蓋 <input type="checkbox"/> 天蓋入口の鍵 <input type="checkbox"/> 集水井周辺の陥没	<input checked="" type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり <input type="checkbox"/> 不足あり
集水井工 集水井内部	<input checked="" type="checkbox"/> 本体の変形 <input type="checkbox"/> 二砂流入 <input type="checkbox"/> 集水ポーリングの明らかな目詰まり <input type="checkbox"/> 部材の著しい劣化 <input type="checkbox"/> 漏水	<input type="checkbox"/> 異常なし <input checked="" type="checkbox"/> 異常あり <input type="checkbox"/> 内部が見えない
排水ポーリング	<input type="checkbox"/> 排水量がない <input type="checkbox"/> 排水量が吐き口までの間に明らかに減少 <input type="checkbox"/> 吐き口の周辺が破損 <input type="checkbox"/> 吐き口の周辺が埋没 <input checked="" type="checkbox"/> 排水管の位置不明	<input type="checkbox"/> 異常なし <input checked="" type="checkbox"/> 異常あり
<input checked="" type="checkbox"/> 水抜きポーリング工	<input checked="" type="checkbox"/> 明らかな目詰まり <input type="checkbox"/> 吐き口の周辺が破損 <input type="checkbox"/> 吐き口の周辺が埋没	<input type="checkbox"/> 異常なし <input checked="" type="checkbox"/> 異常あり
<input checked="" type="checkbox"/> 承排水路工	<input checked="" type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 埋没 <input type="checkbox"/> 流末の位置不明	<input type="checkbox"/> 異常なし <input checked="" type="checkbox"/> 異常あり

Q. 調査票への記載は「ブロックごと」か「施設ごと」のどちらか。
A. 1枚1施設で記載します。1ブロックに集水井工・水抜きポーリング工・承排水路工の異なる施設がある場合はまとめて記載しても結構です。1施設とは、集水井工や水抜きポーリング工は1基ごと、承排水路工は流末(道路側溝や大きな縦排水路、溪流)までつながる一連の水路を目安とします。

Q. 明らかな目詰まりとはどのような状態か
A. 外から見て詰まっている孔があったら明らかな目詰まりとします。

各項目および周辺状況で気づいた点があれば記入ください(自由記入)
 ・集水井工の内部に変形が見られた。
 ・排水ポーリングの排水管が見つからなかった。
 ・水抜きポーリング7孔のうち、左から1,2番目の2孔が半分以上目詰まり。
 ・承排水路工の○○宅の裏の水路が破損して漏水していた。
 ・集水井工に近接する市道◇◇線の道路面に新しい亀裂が見られた。



Q. 自由記入はどのように?
A. 各項目で気づいた点、周辺の道路状況や聞き取り結果なども記載してください。

※位置図や写真は別添に記載してください
 評価 1.異常あり 2.異常なし

Q. 地すべり防止施設の名称が当県と調査票とで異なる
A. 県や地区によって扱いが異なることがあるので、下表を参考に分かりやすい名称を使用してください。

表- 地すべり防止施設名称の参照表

本資料の名称	類義語
集水井工	井戸、井筒
集水ポーリング工	集水管
排水ポーリング工	排水管
水抜きポーリング工	横ポーリング工、水平ポーリング工、水平水抜管、水抜管
承排水路工	承水路工、排水路工、水路工、地表排水工、地表水排除工

Q. 評価はどのように?
A. 点検を行った地区・ブロックで異常が1箇所でもあった場合は「1.異常あり」とします。集水井工安全施設の「不足あり」や集水井内部の「内部が見えない」も異常な状態です。

地すべり防止施設調査票（抑制工）巡視員版の Q&A

Q 施設の調査はどこまで行えばよいか

安全に歩ける範囲で全施設（承排水路工は全線）の調査を基本とします。集水井工の内部は外から見える範囲で結構ですが、排水ボーリングは吐き口も点検してください。排水管の出口が見つからないことも管理上重要な情報です（排水ボーリングが別の集水井に連結されていることもあります）。

Q ブロック名、施設名がわからない

分りやすいブロック名、施設名を任意で付けてください。その場合、県の担当部署とで情報を共有して下さい。

Q 調査票への記載は「ブロックごと」か「施設ごと」のどちらか。

1 枚 1 施設で記載します。1 ブロックに集水井工・水抜きボーリング工・承排水路工の異なる施設がある場合はまとめて記載しても結構です。1 施設とは、集水井工や水抜きボーリング工は 1 基ごと、承排水路工は流末（道路側溝や大きな縦排水路、渓流）までつながる一連の水路を目安とします。

Q こちらで使っている地すべり防止施設の名称が調査票と異なる

県や地区によって施設の名称が異なることがあるので、下段を参考にして分かりやすい名称を使用してください。

表-1 地すべり防止施設名称の参照表

本資料の名称	類義語
集水井工	井戸、井筒
集水ボーリング工	集水管
排水ボーリング工	排水管
水抜きボーリング工	横ボーリング工、水平ボーリング工、水平水抜管、水抜管
承排水路工	承水路工、排水路工、水路工、地表排水工、地表水排除工

Q 集水井の集水ボーリング工や水抜きボーリング工の明らかな目詰まりとはどのような状態か

集水井の集水ボーリング工は外から見て詰まっている孔があったら、水抜きボーリングは孔口部が半分以上閉塞している孔があったら明らかな目詰まりとします。

Q 調査結果はどのように報告すればよいか。

調査票を県の担当部署まで提出ください。

地区名		ブロック名				
指定年月日		所在地				
災害履歴	有(年)・無・不明	被災状況				
地すべり規模	最大幅: m	延長: m	最大すべり面深度: m			
保全対象	農地(水田・普通畑・樹園地・草地)・人家(戸)・道路・その他()					
気象等	年間降水量: mm	年間最大積雪深: cm	海岸からの距離: km			
地質状況	地質時代:	地層名:	岩質・土質:			
水理状況						
地すべり分類						
地すべり機構						
残存観測孔	残存孔数: 本 孔名: (確認年月日:) (うち観測可能孔数: 傾斜計 本, 水位観測孔 本, その他() 本)					
既設対策工	工種	竣工年	数量	施設諸元(規模・構造等)		
	集水井工					
	水抜きボーリング工					
	承水路工					
	杭工					
	アンカー工					
施設の補修・洗浄履歴						
既往観測調査	観測種別	観測の有無(観測期間)	観測方法	観測地点	観測結果・対策工効果	
	地下水位	有(年~ 年)・無 地下水排除工施工前後の観測 施工前:有・無 施工後:有・無				
	移動量	有(年~ 年)・無			潜在以下・潜在・準確定・確定	
	地下水排除工排水量	有(年~ 年)・無				
安定解析	解析の有無(実施年)	測線名	水位観測孔	目標安全率	対策後安全率	解析内容・結果
	有(年)・無					
活動性評価	評価年月日	評価	地すべりブロックの現況			
		活動中(変状明瞭)・活動中の可能性あり(変状不明瞭) 沈静化(現在安定)・不明				
備考	日常管理結果、地元からの聞き取り結果等					

地すべりブロック台帳(2/2)

地区全体平面図・地すべりブロック平面図

地すべりブロック断面図(測線名:)

地区名		ブロック名	
-----	--	-------	--

工種	施設名	点検日	年 月 日					対応	施設名	点検日	年 月 日					対応
		総合評価	個別評価							総合評価	個別評価					
			本体	集水ホ-リング	排水ホ-リング	付帯施設	その他				本体	集水ホ-リング	排水ホ-リング	付帯施設	その他	
集水井工																

工種	施設名	点検日	年 月 日				対応	施設名	点検日	年 月 日				対応
		総合評価	個別評価						総合評価	個別評価				
			閉塞割合	水抜きホ-リング孔	付帯施設	その他				閉塞割合	水抜きホ-リング孔	付帯施設	その他	
水抜きホ-リング工														

工種	施設名	点検日	年 月 日				対応	施設名	点検日	年 月 日				対応
		総合評価	個別評価						総合評価	個別評価				
			承水路1	承水路2	承水路3					承水路1	承水路2	承水路3		
承水路工														

地すべり防止施設健全度評価一覧表(2/2)

地区名		ブロック名	
-----	--	-------	--

工程	施設名	点検日	年 月 日					対応	施設名	点検日	年 月 日					対応
		総合評価	個別評価							総合評価	個別評価					
			本体	集水ホ-リング	排水ホ-リング	付帯施設	その他				本体	集水ホ-リング	排水ホ-リング	付帯施設	その他	
集水井工																

工程	施設名	点検日	年 月 日				対応	施設名	点検日	年 月 日				対応
		総合評価	個別評価						総合評価	個別評価				
			閉塞割合	水抜きホ-リング孔	付帯施設	その他				閉塞割合	水抜きホ-リング孔	付帯施設	その他	
水抜きホ-リング工														

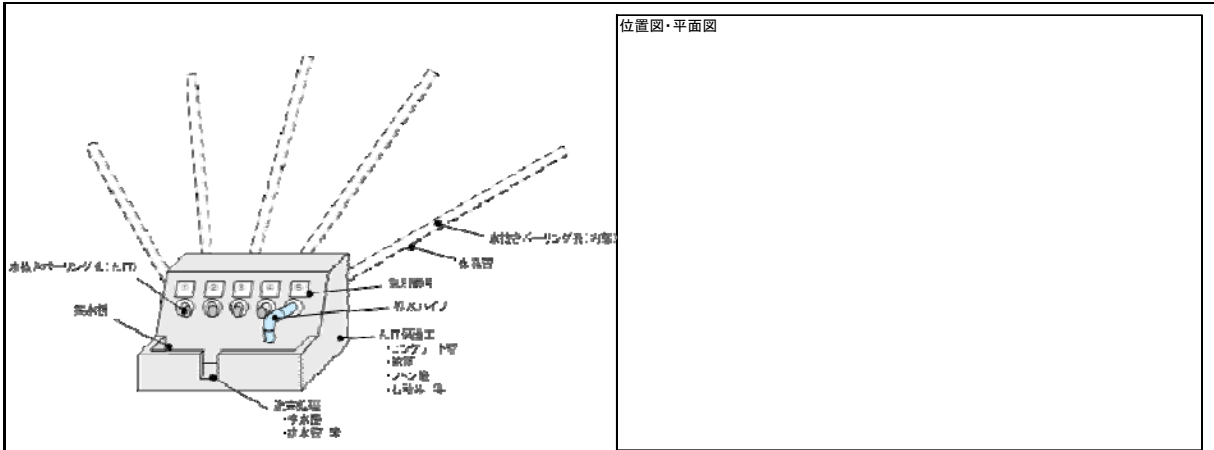
工程	施設名	点検日	年 月 日				対応	施設名	点検日	年 月 日				対応
		総合評価	個別評価						総合評価	個別評価				
			承水路1	承水路2	承水路3					承水路1	承水路2	承水路3		
承水路工														

水抜きボーリング工 機能診断調査(概査)点検票(1/2)

地区名		ブロック名		施設名		位置	北緯 ° ' "
施工年度		保孔管材質		保孔管直径		水抜きボーリング孔	東経 ° ' "
導水パイプ	有・無	孔口保護工	有・無	集水柵	有・無	流末施設	m × 本
点検日		天候		前日降水量	mm	点検者	
健全度評価							
孔口の目詰まり割合 付着度A・B・Cの 孔数/全孔数	本/本	孔内部の目詰まり割合 「詰まっている」と「やや詰まっている」の孔数/全孔数	本/本	水抜きボーリング孔 本体個別評価		総合評価	
	%	%	%	付帯施設個別評価		所見	
水抜きボーリング孔	項目		状況		コメント		
	左から 1本目 ①	孔口の状況	位置不明・埋没・破損・導水パイプあり・問題なし				
		排水量	L/分・滴水・濡れ・乾燥				
		鋼製保孔管の腐食	腐食顕著・腐食若干・腐食軽微～なし				
		目詰まり状況(内部)	詰まっている・やや詰まっている・健全				
		閉塞割合*1(孔口)	付着度 A・B・C・D・E・F				
		目詰まり物質*2	種別 1・2・3・4・5 なし				
	左から 2本目 ②	孔口の状況	位置不明・埋没・破損・導水パイプあり・問題なし				
		排水量	L/分・滴水・濡れ・乾燥				
		鋼製保孔管の腐食	腐食顕著・腐食若干・腐食軽微～なし				
		目詰まり状況(内部)	詰まっている・やや詰まっている・健全				
		閉塞割合*1(孔口)	付着度 A・B・C・D・E・F				
		目詰まり物質*2	種別 1・2・3・4・5 なし				
	左から 3本目 ③	孔口の状況	位置不明・埋没・破損・導水パイプあり・問題なし				
		排水量	L/分・滴水・濡れ・乾燥				
		鋼製保孔管の腐食	腐食顕著・腐食若干・腐食軽微～なし				
		目詰まり状況(内部)	詰まっている・やや詰まっている・健全				
		閉塞割合*1(孔口)	付着度 A・B・C・D・E・F				
		目詰まり物質*2	種別 1・2・3・4・5 なし				
	左から 4本目 ④	孔口の状況	位置不明・埋没・破損・導水パイプあり・問題なし				
		排水量	L/分・滴水・濡れ・乾燥				
		鋼製保孔管の腐食	腐食顕著・腐食若干・腐食軽微～なし				
		目詰まり状況(内部)	詰まっている・やや詰まっている・健全				
		閉塞割合*1(孔口)	付着度 A・B・C・D・E・F				
		目詰まり物質*2	種別 1・2・3・4・5 なし				
	左から 5本目 ⑤	孔口の状況	位置不明・埋没・破損・導水パイプあり・問題なし				
		排水量	L/分・滴水・濡れ・乾燥				
		鋼製保孔管の腐食	腐食顕著・腐食若干・腐食軽微～なし				
		目詰まり状況(内部)	詰まっている・やや詰まっている・健全				
		閉塞割合*1(孔口)	付着度 A・B・C・D・E・F				
目詰まり物質*2		種別 1・2・3・4・5 なし					
左から 6本目 ⑥	孔口の状況	位置不明・埋没・破損・導水パイプあり・問題なし					
	排水量	L/分・滴水・濡れ・乾燥					
	鋼製保孔管の腐食	腐食顕著・腐食若干・腐食軽微～なし					
	目詰まり状況(内部)	詰まっている・やや詰まっている・健全					
	閉塞割合*1(孔口)	付着度 A・B・C・D・E・F					
	目詰まり物質*2	種別 1・2・3・4・5 なし					
項目		状況		コメント			
付帯施設	導水パイプ	機能の著しい低下～機能なし(破損、未設置)・機能低下(軽微な破損、目詰まり、脱落)・問題なし					
	孔口保護工	機能の著しい低下～機能なし(破損、未設置)・機能低下(軽微な破損)・問題なし					
	集水柵	機能の著しい低下～機能なし(破損、未設置)・機能低下(軽微な破損、土砂等の堆積)・問題なし					
	流末施設	機能の著しい低下～機能なし(破損、未設置)・機能低下(軽微な破損、土砂等の堆積)・問題なし					
施設周辺地盤		崩落・押し出し・沈下・湧水・問題なし					
地下水位		観測孔名:	地下水位:管頭-	m			
その他コメント							

*1 閉塞割合 : 付着度A(70%以上) 付着度B(50-70%) 付着度C(30-50%) 付着度D(10-30%) 付着度E(10%未満) 付着度F(閉塞なし)
 *2 目詰まり物質の種別 : 1(細菌型) 2(藻類型) 3(植物体型) 4(土砂) 5(その他(石灰沈着など))

水抜きボーリング工 機能診断調査(概査)点検票(2/2)



全体写真・スケッチ



水抜きボーリング孔本体 健全度個別評価				
評価基準	—	付着度A・B・Cの孔数が全孔数の50%以上	付着度A・B・Cの孔数が全孔数の50%未満 (付着度A・B・Cの孔が1本以上あり)	付着度D・E・Fの孔のみ
孔口の目詰まり	—	要詳細調査	監視	問題なし
評価基準	—	機能の著しい低下～機能喪失 ・孔口の破損、埋没 ・鋼製保孔管の腐食顕著 ・孔内部が「詰まっている孔」と「やや詰まっている孔」の合計が全孔の50%以上、もしくは「詰まっている孔」が1本以上	機能の軽微な低下 ・孔口部の軽微な破損 ・鋼製保孔管の腐食若干 ・孔内部が「やや詰まっている孔」の合計が全孔の30%以上50%未満(「詰まっている孔」なし)	問題なし
孔本体	—	要詳細調査	監視	問題なし
評価基準	—	崩落・押し出し・沈下	湧水	問題なし
施設周辺地盤	—	要詳細調査	監視	問題なし
個別評価基準	—	一つでも要詳細調査があれば	一つでも監視があれば	その他
水抜きボーリング孔本体の個別評価	—	要詳細調査	監視	問題なし
付帯施設 健全度個別評価				
評価基準	破損や大きな変形等で緊急対応が必要	機能の著しい低下～機能喪失 ・変形、傾き、破損、亀裂 ・埋没 ・未設置	機能の低下が見られるが、簡単な補修・土砂上げ等により機能の回復が可能なもの ・軽微な変形、傾き、破損、亀裂 ・導水パイプの目詰まり・脱落 ・局所的な埋没、閉塞	問題なし
導水パイプ	—	補修・更新・新設	軽微な補修	問題なし
孔口保護工	—	補修・更新・新設	軽微な補修	問題なし
集水樹	緊急対応	補修・更新・新設	軽微な補修	問題なし
流末施設	緊急対応	補修・更新・新設	軽微な補修	問題なし
個別評価基準	一つでも緊急対応があれば	一つでも補修・更新・新設があれば	一つでも軽微な補修があれば	その他
付帯施設の個別評価	緊急対応	補修・更新・新設	軽微な補修	問題なし
総合評価基準	各個別評価で一つでも緊急対応があれば	各個別評価で一つでも要詳細、補修・更新・新設があれば	各個別評価で一つでも監視、軽微な補修があれば	その他
水抜きボーリング工 健全度総合評価	緊急対応	要詳細調査 補修・更新・新設	監視、軽微な補修	問題なし

地区名		ブロック名		施設名		点検日	
左から1本目①外観				左から1本目①目詰まり状況			
左から2本目②外観				左から2本目②目詰まり状況			
左から3本目③外観				左から3本目③目詰まり状況			
左から4本目④外観				左から4本目④目詰まり状況			

様式-4(4)

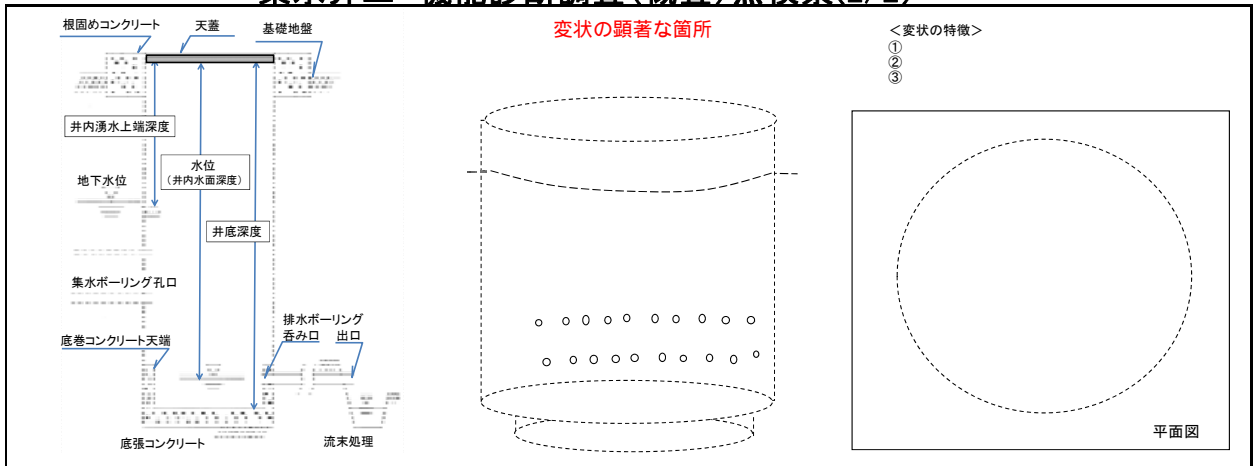
水抜きボーリング工 機能診断調査(概査)点検票写真(2/2)

地区名		ブロック名		施設名		点検日	
左から5本目⑤外観				左から5本目⑤目詰まり状況			
左から6本目⑥外観				左から6本目⑥目詰まり状況			

地区名		ブロック名		施設名		位置	集水井本体 北緯 ° ' " 東経 ° ' "	排水ボーリング出口部 北緯 ° ' " 東経 ° ' "	
施工年度		構造・材質		深度・口径		集水ボーリング	上段: 本×L= m・管材質 ・直径 mm 下段: 本×L= m・管材質 ・直径 mm		
補強リング	有・無 間隔 m	パーチカル スティフナー	有・無	ラテラル ストラット	有・無	排水ボーリング	延長 m・管材質	内径 mm 外径 mm	
安全柵	有・無 高さ: m 鍵: 有・無	天蓋	有・無 材質: 鍵: 有・無	点検梯子	有・無 螺旋・直	維持管理用 階段	有・無	銘板 有・無	
補修・洗浄歴									
点検日		天候		前日降水量	mm	点検者			
井底 深度	m	水位	m	井内湧水 上端深度	m	地下水位	観測孔名: 地下水位:管頭- m		
健全度評価									
集水井本体 個別評価		付帯施設 個別評価		総合評価		所見			
項目	状況			コメント			金属部材 劣化度		
集水井 井筒本体	①ライナープレート	腐食: 有・無 破損: 有・無							
	②補強リング本体	腐食: 有・無 破損: 有・無							
	③補強リングボルト	腐食: 有・無 破損: 有・無							
	④パーチカルスティフナー 本体	腐食: 有・無 破損: 有・無							
	⑤パーチカルスティフナー 固定金具	腐食: 有・無 破損: 有・無							
	⑥ラテラルストラット	腐食: 有・無 破損: 有・無							
	⑦地表コンクリート (根固め)	亀裂・傾き : 有・無							
	⑧底部コンクリート (底巻、底張)	亀裂・傾き 土砂・植物等の堆積 : 有・無							
	⑨植物	井筒内・近傍の植物繁茂 : 有・無							
	⑩井内湛水	異常湛水(ダムアップ) : 有・無			井内水面高 > 底巻コンクリート天端高 井内水面高 ≤ 底巻コンクリート天端高				
	⑪外力の影響	部材の変形・破損 : 有・無							
施設周辺地盤	⑫根固めコンクリート 基礎地盤	基礎地盤の沈下・陥没 : 有・無							
	⑬施設周辺	崩落・押し出し・湧水 : 有・無							
付帯施設	①天蓋	腐食: 有・無 破損: 有・無							
	②点検梯子	腐食: 有・無 破損: 有・無							
	③安全柵	腐食: 有・無 破損: 有・無							
集水 ボーリング (孔口)	集水量 (遠望目視)	上段集水ボーリング合計: 多・少・滴水・なし・不明 (概ね L/分) 確認孔数 本(うち湧出がある孔数 本)			下段集水ボーリング合計: 多・少・滴水・なし・不明 (概ね L/分) 確認孔数 本(うち湧出がある孔数 本)			井筒内壁(湧水) 合計: 多・少・滴水・なし・不明 (概ね L/分)	
	目詰まり孔数 (遠望目視)	上段: ①詰まっている 本・②やや詰まっている 本・③健全 本・④不明 本			下段: ①詰まっている 本・②やや詰まっている 本・③健全 本・④不明 本			$\frac{((①+②)+(①+②))}{((①+②)+(③)+(①+②)+(③))} \times 100 =$ 目詰まり孔割合 (%)	
	目詰まり物質*2 (遠望目視)	上段: 種別1 本・種別2 本・種別3 本・種別4 本・種別5 本・なし 本・不明 本			下段: 種別1 本・種別2 本・種別3 本・種別4 本・種別5 本・なし 本・不明 本				
	保孔管の状況	位置: 確認・不明 腐食: 有・無 破損: 有・無							
排水 ボーリング (出口)	排水量	排水量: L/分 集水量との比較: 集水量 >> ≧ ≒ ≪ ≫ 排水量 漏水の疑い: 有・無							
	閉塞割合*1	付着度: A・B・C・D・E・F							
	目詰まり物質*2	種別: 1・2・3・4・5・なし							
	流末処理状況	排先: 水路・河川・その他() 流末処理: 問題あり・問題なし							
その他コメント									

*1 閉塞割合: 付着度A(70%以上) 付着度B(50-70%) 付着度C(30-50%) 付着度D(10-30%) 付着度E(10%未満) 付着度F(閉塞なし)
*2 目詰まり物質の種別: 1(細菌型) 2(藻類型) 3(植物体型) 4(土砂) 5(その他(石灰沈着など))

集水井工 機能診断調査(概査)点検票(2/2)



全体写真

銘板写真

排水ボーリング出口写真

集水井本体 健全度個別評価					
評価基準 (金属部材劣化度)	—	腐食顕著	腐食若干	腐食軽微~なし	
	井筒本体 (金属部材)	破損や大きな変形等で緊急対応が必要	錆びによる表面膨張や板厚減少が生じている。強度低下している。表層部から容易に剥落する。欠損、破損を伴っている。ボルトでは、表層部から容易に剥落し、レンチ締め付け不可能。	錆びによる軽微な表面膨張が生じている。全体的に表面がザラザラし、若干が剥離する程度。ボルトでは、レンチ締めの付けが可能。	損傷なし。軽微な点錆びが生じており、局部的に茶褐色化するものを含む。
ライナープレート	緊急対応	要詳細調査	要詳細調査	問題なし	
補強リング (ボルト含む、低評価箇所を基準)	緊急対応	要詳細調査	要詳細調査	問題なし	
パーチカルステイプナー (固定金具含む、低評価箇所を基準)	緊急対応	要詳細調査	要詳細調査	問題なし	
ラテラルストラット	緊急対応	要詳細調査	要詳細調査	問題なし	
井筒本体 (その他)	評価基準	井内異常湛水 (井内水面高 > 底巻コンクリート天端高)	コンクリートの亀裂・傾きが顕著。土砂・植物等の堆積 井内異常湛水(井内水面高 ≤ 底巻コンクリート天端高)	コンクリートの亀裂・傾きが軽微	問題なし
地表コンクリート	緊急対応	要詳細調査	監視	問題なし	
底部コンクリート	—	要詳細調査	監視	問題なし	
井内湛水	—	要詳細調査	—	問題なし	
個別評価基準	—	部材の破損、部材の変形が大きい 基礎地盤の沈下・陥没、崩落・押し出し	部材の変形が軽微 湧水	問題なし	
外力	—	要詳細調査	監視	問題なし	
施設周辺地盤	—	要詳細調査	監視	問題なし	
集排水 ボーリング	評価基準	目詰まり孔割合50%以上 もしくは「詰まっている孔」が1本以上	目詰まり孔割合30%以上50%未満 (「詰まっている孔」なし)	問題なし	
集水ボーリング	—	要詳細調査	監視	問題なし	
評価基準	—	漏水、閉塞の疑いあり(集水量 >> 排水量) 孔出口閉塞30%以上、鋼製保孔管の腐食顕著	孔出口閉塞30%未満(付着あり) 鋼製保孔管の腐食若干	問題なし	
排水ボーリング	—	要詳細調査	監視	問題なし	
個別評価基準	一つでも緊急対応があれば	一つでも要詳細調査があれば	一つでも監視があれば	その他	
集水井本体の健全度個別評価	緊急対応	要詳細調査	監視	問題なし	

付帯施設 健全度個別評価				
評価基準 (金属部材劣化評価)	—	腐食顕著	腐食若干	腐食軽微~なし
	付帯施設	破損や大きな変形等で緊急対応が必要	部分的な欠落、肉厚減少が発生しており、機能が確保されていない箇所が一面所でも含まれる。	錆びによる軽微な表面膨張が生じている。全体的に表面がザラザラし、若干が剥離する。
天蓋	緊急対応	更新	監視	問題なし
点検梯子	—	更新	要詳細調査	問題なし
安全柵	—	補修・更新	監視	問題なし
個別評価基準	一つでも緊急対応があれば	一つでも補修・更新があれば	一つでも監視があれば	その他
付帯施設の健全度個別評価	緊急対応	補修・更新	監視	問題なし

総合評価基準							
各個別評価で一つでも緊急対応があれば	緊急対応	各個別評価で一つでも要詳細調査、補修・更新があれば	要詳細調査・補修・更新	各個別評価で一つでも監視があれば	監視	その他	問題なし
集水井工健全度総合評価	緊急対応	要詳細調査・補修・更新	監視	問題なし			

地区名	ブロック名	施設名	点検日
ライナープレート		集水ボーリング孔(孔口)	
補強リング(本体・ボルト)		底部コンクリート(底張・底巻)	
パーチカルスティフナー(本体・固定金具)		排水ボーリング(呑み口)	
ラテラルストラット		排水ボーリング孔(出口)	

集水井工 機能診断調査(概査)点検票写真(2/2)

地区名	ブロック名	施設名	点検日
天蓋		根固めコンクリート(本体)	
点検梯子(本体・固定金具)		根固めコンクリート(基礎地盤)	
安全柵(フェンス・扉)		周辺変状	
外力による変形・破損		植生状況(井筒内、周辺)	

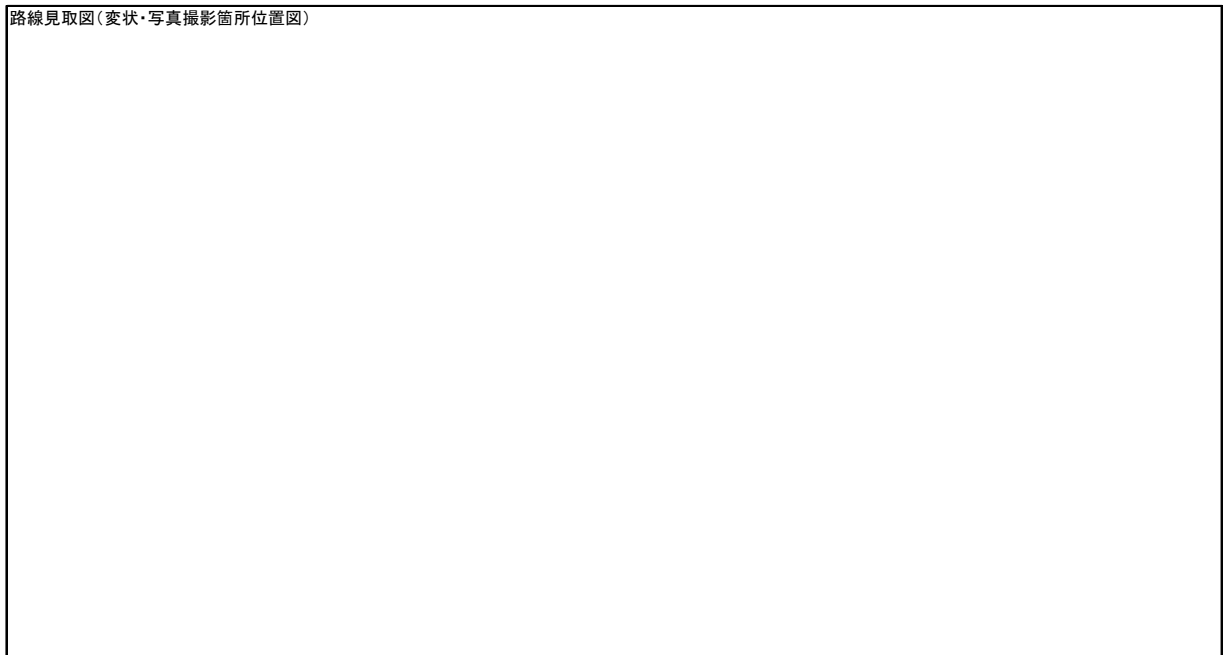
承水路工 機能診断調査(概査)点検票(1/2)

地区名		ブロック名		施設名		位置	北緯 ° ' " / 東経 ° ' "	
施工年度		構造	路線1:開渠・明暗渠 路線2:開渠・明暗渠 路線3:開渠・明暗渠	水路材質	路線1: 路線2: 路線3:	水路長 水路幅	路線1:幅 ×L= m 路線2:幅 ×L= m 路線3:幅 ×L= m	
点検日		天候		前日降水量	mm	点検者		
変状箇所数		主な変状形態						
健全度評価								
個別評価	承水路1	承水路2	承水路3	総合評価	所見			
水路流量	路線	上流部流量	末端部流量	漏水可能性	コメント			
	承水路1	概ね L/分	概ね L/分	有・無・不明				
	承水路2	概ね L/分	概ね L/分	有・無・不明				
	承水路3	概ね L/分	概ね L/分	有・無・不明				
路線	項目	状況		コメント				
承水路1	水路本体	漏水・溢水	漏水(箇所)・溢水(箇所)・なし					
		変形	屈曲・断面縮小・目地切れ・なし					
		破損	破断・欠損・亀裂・劣化・なし					
		閉塞・埋没	土砂堆積・植物堆積・その他・なし					
	付帯施設	連結集水樹	変形・破損・土砂等堆積・問題なし					
		落差工壁	変形・破損・土砂等堆積・問題なし					
		流末処理(連結部)	排出・連結先	水路・河川・その他()				
	施設周辺地盤	水路基礎	流末処理	問題あり・問題なし				
			水路基礎	沈下・流出・洗掘・吸い出し・問題なし				
		路線沿斜面	崩落・押し出し・問題なし					
	承水路2	水路本体	漏水・溢水	漏水(箇所)・溢水(箇所)・なし				
			変形	屈曲・断面縮小・目地切れ・なし				
破損			破断・欠損・亀裂・劣化・なし					
閉塞・埋没			土砂堆積・植物堆積・その他・なし					
付帯施設		連結集水樹	変形・破損・土砂等堆積・問題なし					
		落差工壁	変形・破損・土砂等堆積・問題なし					
		流末処理(連結部)	排出・連結先	水路・河川・その他()				
施設周辺地盤		水路基礎	流末処理	問題あり・問題なし				
			水路基礎	沈下・流出・洗掘・吸い出し・問題なし				
		路線沿斜面	崩落・押し出し・問題なし					
承水路3		水路本体	漏水・溢水	漏水(箇所)・溢水(箇所)・なし				
			変形	屈曲・断面縮小・目地切れ・なし				
	破損		破断・欠損・亀裂・劣化・なし					
	閉塞・埋没		土砂堆積・植物堆積・その他・なし					
	付帯施設	連結集水樹	変形・破損・土砂等堆積・問題なし					
		落差工壁	変形・破損・土砂等堆積・問題なし					
		流末処理(連結部)	排出・連結先	水路・河川・その他()				
	施設周辺地盤	水路基礎	流末処理	問題あり・問題なし				
			水路基礎	沈下・流出・洗掘・吸い出し・問題なし				
		路線沿斜面	崩落・押し出し・問題なし					
	その他コメント							

承水路工 機能診断調査(概査)点検票(2/2)

位置図・平面図

路線見取図(変状・写真撮影箇所位置図)



承水路工 健全度評価						
評価基準		破損や大きな変形等で緊急対応が必要	機能の著しい低下～機能喪失 ・変形、破損 ・目地切れ、段差、ズレ ・長区間の水路閉塞、埋没 ・漏水、溢水	機能の低下が見られるが、簡単な補修・土砂上げ等により機能の回復が可能なもの ・軽微な破損 ・局所的な水路閉塞、埋没	機能の軽微な低下 ・軽微な目地切れ ・軽微な段差	問題なし
承水路1	水路本体	緊急対応	補修・更新	軽微な補修	監視	問題なし
	付帯施設、流末処理	緊急対応	補修・更新	軽微な補修	監視	問題なし
承水路2	水路本体	緊急対応	補修・更新	軽微な補修	監視	問題なし
	付帯施設、流末処理	緊急対応	補修・更新	軽微な補修	監視	問題なし
承水路3	水路本体	緊急対応	補修・更新	軽微な補修	監視	問題なし
	付帯施設、流末処理	緊急対応	補修・更新	軽微な補修	監視	問題なし
評価基準		規模の大きな崩壊等で緊急対応が必要	水路基礎の流出、沈下 水路基礎の著しい洗掘、吸い出し 路線沿斜面の崩落、押し出し	水路基礎の洗掘や路線沿斜面の崩落等で、簡単な補修により機能の回復が可能なもの	水路基礎の軽微な洗掘等 路線沿斜面の小崩落	問題なし
承水路1	水路基礎、路線沿斜面	緊急対応	補修・更新	軽微な補修	監視	問題なし
承水路2	水路基礎、路線沿斜面	緊急対応	補修・更新	軽微な補修	監視	問題なし
承水路3	水路基礎、路線沿斜面	緊急対応	補修・更新	軽微な補修	監視	問題なし
個別評価基準		一つでも緊急対応があれば	一つでも補修・更新があれば	一つでも軽微な補修があれば	一つでも監視があれば	問題なし
承水路1個別評価		緊急対応	補修・更新	軽微な補修	監視	問題なし
承水路2個別評価		緊急対応	補修・更新	軽微な補修	監視	問題なし
承水路3個別評価		緊急対応	補修・更新	軽微な補修	監視	問題なし
総合評価基準		一つでも緊急対応があれば	一つでも補修・更新があれば	一つでも軽微な補修があれば	一つでも監視があれば	問題なし
承水路工健全度総合評価		緊急対応	補修・更新	軽微な補修	監視	問題なし

地区名	ブロック名	施設名	点検日
01 承水路1 始点		02 承水路1 中間1	
03 承水路1 中間2		04 承水路1 終点	
05 承水路1 目地切れ		06 承水路1 水路閉塞状況	
07 承水路1 土砂堆積状況		08 承水路1 洗掘状況	

様式-4(4)

承水路工 機能診断調査(概査)点検票写真(2/2)

地区名		ブロック名		施設名		点検日	

様式-5(1)

集水井部材詳細調査点検表(1)

地区名: 地区(号 集水井) 点検日: 年 月 日 点検者:

深度 (m)	ライナープレート							補強リング					
	湿潤 状態	錆の 状況	腐食状況			打音	背面 状況	板厚 実測値	錆の 状況	腐食状況			打音
			平均 評価	顕著な 部分的劣化						平均 評価	顕著な 部分的劣化		
				位置 (測線)	評価						位置 (測線)	評価	
							穴周辺 (mm)						
0~1													
1~2													
2~3													
3~4													
4~5													
5~6													
6~7													
7~8													
8~9													
9~10													
10~11													
11~12													
12~13													
13~14													
14~15													
15~16													
16~17													
17~18													
18~19													
19~20													
20~21													
21~22													
22~23													
23~24													
24~25													

様式-5(2)

集水井部材詳細調査点検表(2)

地区名: 地区(号 集水井) 点検日: 年 月 日 点検者:

深度 (m)	ボルト・ナット				下振り (壁面からの距離) (cm)			
	形状	腐食状況						
		平均 評価	顕著な 部分的劣化					
			位置 (測線)	評価	測線位置			
		A	B	C	D			
0~1								
1~2								
2~3								
3~4								
4~5								
5~6								
6~7								
7~8								
8~9								
9~10								
10~11								
11~12								
12~13								
13~14								
14~15								
15~16								
16~17								
17~18								
18~19								
19~20								
20~21								
21~22								
22~23								
23~24								
24~25								

パーチカルスティフナー			
錆の状況		平均評価	
記事			

ラテラルストラット			
錆の状況		平均評価	
記事			

天蓋			
概査時評価		平均評価	
記事			

点検梯子			
錆の状況		平均評価	
記事			

安全柵			
概査時評価		平均評価	
記事			

様式-5(3)

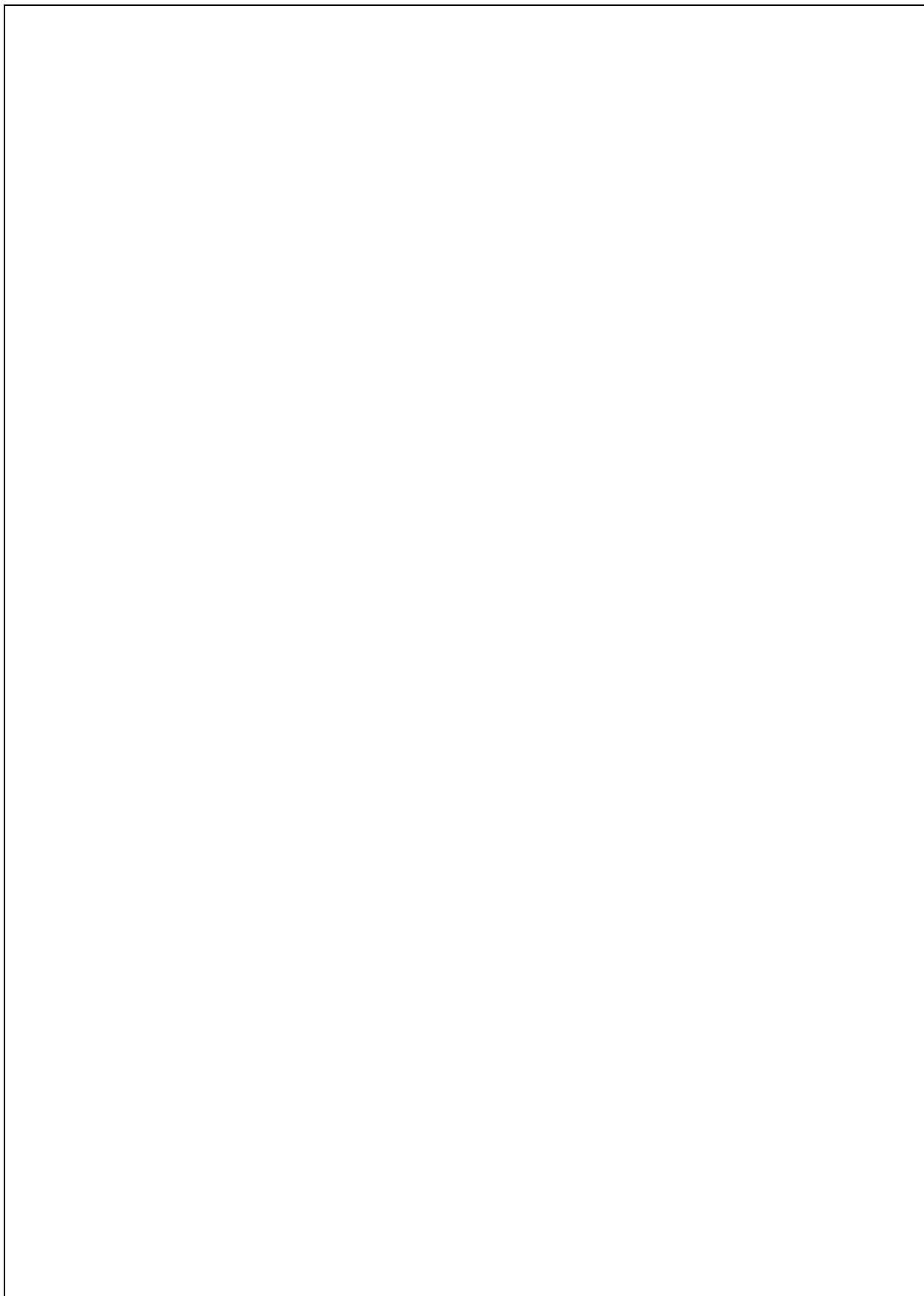
集水井部材詳細調査 写真表

地区名: 地区(号 集水井) 点検日: 年 月 日 点検者:

様式-5(4)

集水井部材詳細調査 展開写真

地区名: 地区(号 集水井) 点検日: 年 月 日 点検者:



様式-5(5)

集水井部材詳細調査 スケッチ図

地区名: 地区(号 集水井) 点検日: 年 月 日 点検者:



集水井部材詳細調査点検表 評価基準一覧

ライナープレート 湿潤状況	a	乾燥
	b	一部湿潤
	c	湿潤
	d	一部流水
	e	大部分流水
	f	湛水

ライナープレート 背面状況	a	グラウト
	b	地山押し出し
	c	空洞
	d	スケール等充填物
	e	その他
	f	不明

ボルト・ナット 形状	a	健全
	b	一部腐蝕
	c	腐蝕
	d	欠損

打音	a	キンキンとした金属音
	b	カンカンとしたにぎった金属音
	c	ポコポコとしたこもった音

錆の状況	a	健全
	b	点錆
	c	板厚減少

評価区分	対応イメージ	ライナープレート	補強リング	ボルトナット
Ⅲ	対策不要	・損傷なし。 もしくは、軽微な点錆が生じており、局所的に茶褐色化するものを含む	・損傷なし。 もしくは軽微な点錆が生じている。表面が茶褐色化する。	・損傷なし。 もしくは軽微な点錆が生じている。全体に茶褐色化するものを含める。
Ⅱ	補修を検討	・錆による軽微な表面膨張が生じている。 ・全体的に表面がザラザラし、若干が剥離する	・錆による軽微な表面膨張が生じている。 ・表面が若干ザラザラする。表面部分わずかに剥離するものも含む。	・錆による軽微な表面膨張が生じている。 ・やや膨張している ・表面がザラザラし、若干剥離する程度。レンチ締め付け可能
Ⅰ	(改築か新規設置) 改築を視野に入れた検討必要	・錆による表面膨張や板厚減少が生じている ・強度低下している。表層部から容易に剥落する。 ・欠損・破損を伴っている	・錆による表面膨張や板厚減少が生じている。 ・強度低下している。表層部から容易に剥落する。 ・欠損、破損部分を伴う	・錆による表面膨張や板厚減少が部分～広範囲に発生 ・強度低下している。 ・表層部から容易に剥落し、レンチ締め付け不可能。 欠損、破損している場合を含める。

評価区分	対応イメージ	パーティカルスティフナー ラテラルストラット	天蓋	点検梯子
Ⅲ	対策不要	・損傷なし。 もしくは軽微な点錆が生じている。表面が茶褐色化するものを含む。	・損傷なし。 もしくは、軽微な点錆が生じており、局所的に茶褐色化するものを含む	・損傷なし。 もしくは軽微な点錆が生じている。表面が茶褐色化する。
Ⅱ	補修を検討	・錆による軽微な表面膨張が生じている ・表面がザラザラし、若干剥離する程度	・錆びによる軽微な表面膨張が生じている。 ・全体的に表面がザラザラし、若干が剥離する	・錆びによる軽微な表面膨張が生じている。 ・全体的に表面がザラザラし、若干が剥離する
Ⅰ	(改築か新規設置) 改築を視野に入れた検討必要	・錆による表面膨張や板厚減少が生じている ・強度低下している。表層部から容易に剥落する。 ・欠損、破損している	部分的な欠落、肉厚減少が発生しており、機能が確保されていない箇所が一か所でも含まれる	部分的な欠落、肉厚減少が発生しており、機能が確保されていない箇所が一か所でも含まれる